

読んでみませんか?

～新刊案内～

『荒神』

宮部 みゆき / 著 朝日新聞出版



一夜にして、小さな山村を滅ぼした巨大な怪物。その正体は山の荒ぶる神なのか、それとも誰かの呪いなのか。元禄時代の東北を舞台に描くファンタジー。

『ぬいぐるみおとまりかい』

風木 一人 / 作
岡田 千晶 / 絵 岩崎書店



図書館に、子どもたちがぬいぐるみを持ってやってきました。このぬいぐるみたち、今日はここにお泊りするのです。さあ、夜の図書館には、どんな冒険が待っているのかな?

『自閉症の僕が跳びはねる理由』

東田 直樹 / 著 エスコアール



会話ができない中学生が、筆談やパソコンによって自己表現のすべを身につけ、綴ったその内面世界。自閉症について、よりよく理解するために欠かせない一冊です。

『生きものつかまえたらどうする?』

秋山 幸也 / (他) 著 偕成社



バッタ、カタツムリ、カエルなどの身近な生きものつかまえた、持って帰る方法、上手な飼いかた、そして飼えなくなった時どうしたらいいかまでがわかる本。

おはなし会

- 10月 8日(水) 東部図書館 10:30
- 10月11日(土)、25日(土)羽曳が丘図書館 15:00
- 10月18日(土) 陵南の森図書館 15:00
- 10月18日(土) 古市図書館 15:00
- 10月19日(日) 陵南の森図書館 11:00(小さい子向き)
11:30(少し長いお話を聞ける子向き)
- 10月25日(土) 丹比図書館 10:30
- 10月5日(日)、12日(日)、26日(日)
陵南の森図書館 14:00
- 10月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)
中央図書館 13:30

ちびっこサロン(市役所敷地内:森のゆうびんきょく)
10月8日(水) / 10:30～ おはなし・おりがみなど

今月の休館日 10月31日(金) ※月末日を除き、図書館は日曜・祝日も開館しています。

※古市図書館は、10月11日(土)、12日(日)は臨時休館とさせていただきます。この間はブックポストが使用できませんので、ご返却は各図書館をお願いします。

サラダボール

先日、四国八十八ヶ所お遍路の旅を題材にしたテレビ番組を見た。人間関係が複雑になっているともいわれる現代社会の中で、人とのコミュニケーションに疲れた若者がお遍路の旅を通じて、人のぬくもりを感じ、社会や人とのつながりを取り戻していくというような内容であった。若者に焦点をあてた内容であったが、私はお遍路さんを受け入れる側である地元の人々の行動に関心をもち、お遍路さんといえども、まったく知らない人に昼食などを無理や振る舞い、温かく迎え入れる地元の風土に感動を覚えた。これぞま

さしく日本人のいいところだと思った。
 東日本大震災の時も、あの極限状態の中で、皆が協力し合っている姿を海外の人が見て、日本人はすばらしいと言っていたという話を思い出した。また、多くの人が義援金を送ったり、ボランティアに参加した。
 高齢者ばかりになったマンションで、自分も高齢であるにもかかわらず、マンション内の世話役となり、他の独居高齢者の安否確認や共用部蛍光灯の取り換えなどを行っている人の話も思い出した。

オスマン帝国(一部は現在のトルコ)の軍艦エルトゥールル号が和歌山県串本町沖で沈没した時も、

通報を受けた大島村(現在の串本町)の住民は台風により漁に出ることができず、自分たちの食料の蓄えもわずかであったにもかかわらず、いるいしよくりようていきようそうでせいぞんしゃ衣類や食料を提供し総出で生存者の救護に努めたとのことである。
 これ以外にも、同様の話は数々ある。元来日本人とはまわりの人に対して親切で思いやりをもって接し和を尊しとする穏やかな気質のようである。
 私もそこそこいい歳となったいま、この日本人のよき伝統を受け継いでいきたいと思う今日この頃である。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
 羽曳野市人権啓発推進協議会